



クローズアップ

日光人



いがらし 五十嵐 みちこ 至子さん

木和田島 在住

地域の子どもたちのため活躍する女性

今回は、大沢地区放課後子ども教室実行委員会委員長の五十嵐至子さんを紹介します。放課後子ども教室(以下、教室)は、週に2回も教室(以下、教室)は、週に2回主に大沢公民館で活動を行つており、現在は小学1～6年生25名が活動しています。教室は、現在15人程のボランティアが活動に協力しており、野外活動や体育館活動、創作活動、料理体験やお茶体験など実体験を組み込んだ活動を行っています。平成22年にはこのような活動が評価され、文部科学大臣表彰を受けました。

教室を始めるきっかけは、今市事件の後、大沢地区ではのびのびと遊ぶことのできる場所が少なくなってしまったことです。そこでもつと子どもたちにのびのびと遊んで欲しい、普段の活動ではできないような体験をして欲しいという理由から教室が始まりました。

今年で9年目となった教室ですが、続けてこられた理由を聞くと、「まず、このような活動に協力してくれるボランティアの方たちのおかげだと思っています。そして、何よりも楽しいから続けられていますね。最初は無口でずっと下を向いてる子もいるんです。でも、どうやつたら話してくれるかな、と考えたりするのも楽しいですね。今では、活発に意見を言つてくれるようになりました」と答えてくれました。

また、「地域を作るのは人ですかね」と、五十嵐さん。「何か一つだけできることをしてくださいね」と、五十嵐さん。「何か



料理教室でサンドイッチを作る様子

紹介したい人、サークルを募集しています

クローズアップ日光人では、活躍している人、サークルを紹介しています。このコーナーで紹介したい人やサークルの情報がありましたら、ぜひお寄せください。
※掲載にふさわしくない活動内容をお断りすることがあります。

い。例えば、イベントや活動に参加できなくても、イベントがあるということを近所に声かけをすること。これだけでも十分地域のために貢献できているんですよ」と話してくれました。

今後の目標について伺うと、「20～30代や中高生の若い世代が楽しくボランティア活動に取り組めるような後押ししができればいいなと思っています。そして、地域がもつと元気になつてくれるとうれしいですね」と語ってくれました。

お話を聞く中、絶えず笑顔で優しく答えてくれ、五十嵐さんの温かさが伝わりました。これからも五十嵐さんの活動に期待します。